



株式会社ソミック石川

企業情報 業 種： 製造業
所在地： 浜松市中央区古川町500
従業員数： 2,300名(グループ会社含む) うち、外国人材237名
在留資格： 永住者、高度専門職、技術・人文知識・国際業務など
国籍・地域： ブラジル、中国、インドネシア、インドなど
ホームページ： <https://www.somic.co.jp/>

Q 業務内容や外国人材受入れのきっかけ、これまでの経緯について教えてください。

1990年代、日系ブラジル人の来日増加を機に製造現場で雇用を始めました。また、同時期、当社のグローバル展開に伴い、海外拠点と日本をつなぐ外国籍事務職も採用しました。

近年は、少子高齢化やグローバル化の潮流、そして会社のさらなる成長には人材の多様性が不可欠であるとの認識から、高度外国人材の積極採用を進めています。社会のニーズと当社の成長戦略が合致し、多角的な人材登用を進めています。

Q 外国人材が活躍している状況や効果について教えてください。

多様なバックグラウンドをもつ人材が個性を最大限発揮することが、会社の成長に必要不可欠です。

外国人材と共に働くことにより、(考え方や文化の違いから)相互理解に苦勞する面もある一方、私たちがこれまで当たり前としていたことを、考え直す良いきっかけを与えてくれています。

Q 外国人材が安心・安全に働くことができる就労環境づくりについて教えてください。

「グループの仲間が気持ちよく働ける職場」を目指し日々試行錯誤しており、その土台は「互いを理解・尊重する姿勢」と考えています。

例えば、日本人は業務の背景/ゴールをより丁寧に伝えること、外国籍社員は日本のビジネス習慣(例. 報連相)に配慮することなど、相手の立場で考え、対話する意識醸成につながるような施策(語学支援・異文化理解)に取り組んでいます。

また、デジタルツールの積極活用も、その実現に必要な切り口のの一つと捉えています。

Q 今後検討している取組やアピールポイントについて教えてください。

同じ部署に複数の外国人財を配置する、メンターも外国人財にする、等の工夫をしています。こうした取り組みを通じ、現時点で「マイノリティ」である外国人財の孤立化リスクを低下させ、スムーズな適応・個性発揮を促しています。
また、入社後の日本語のレベルチェックの実施や、そのレベルに応じたオンライン授業の機会を提供をしています。
上記に加え、地域の外国人学校や留学生が通う専門学校での職業講話を行い、日本企業で働くことへの認識を深める活動をしています。

【外国人材の声】

Sajjanshetty Vinayaka(サジェンシチイ ビナヤカ)
CPS生技部 Digital Connect室

日本の「ものづくり」やIoT、ロボティクス技術への興味から静岡大学で学び、日本での就職を決意しました。現在はIoTとAIロボティクス技術の研究開発を通じたスマートシステムの開発に携わり、自身の技術が社会に貢献することにやりがいを感じています。今後は日本の技術進化に貢献し、新たな技術を学びながら革新的なプロジェクトに挑戦していきたいと考えています。



【代表者の声】

海外人事部 部長 石田一馬

外国人財受入れのカタチも外部環境や会社の事業とともに変化してきました。製造現場で活躍する外国人財、事業のグローバル展開に伴い海外拠点と懸け橋になる人財、最近では専門分野や新規事業に携わる高度専門人財の活躍が期待されます。多様な社員の活躍が、社員の意識改革やイノベーションにつながることを期待するとともに、多様性が活かせる環境づくりを続けていきます。

